

## 2 授業科目の概要

### (1) 授業科目表

<人間生活学部 子ども教育学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
学部共通科目	全科学目共通	仏教の人間観	1前	2							
		人間と宗教	1後		2						
		仏教の思想	2前		2						
	人間学関連科目	哲学の世界観	2前		2						
		生命の倫理	1後		2						
		日本国憲法	1前		2						
		文学の世界	2後		2	1					
		音楽の世界	3前		2	1					
		美術の世界	2後		2			1			
		基礎演習	1前	2			1	1			教育の充実を図るため、専任教員1名を増やした。(22) 担当 谷出千代子(教授) 平成22年1月 教員審査済 判定「可」(22)
		環境・健康生活科目	生活と環境A	1後		2					
	生活と環境B		2前		2			1			
	生活と環境C		3前		2						履修希望者がいなかったため未開講とした。(23) 履修希望者がいなかったため未開講とした。(24)
	生活と環境D		2後		2						
	スポーツと健康		1後		2	1					
	スポーツA		1前		1	1					
	スポーツB		2後		1	1					
	外国語科目	英語Ⅰa	1前	1							
		英語Ⅰb	1後	1							
		英語Ⅱa	2前		1						
		英語Ⅱb	2後		1						
		英語Ⅲa	3前		1						
		英語Ⅲb	3後		1						
		フランス語入門a	1前 2前		1						教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)
		フランス語入門b	1後 2後		1						教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)
		ドイツ語入門a	1前 2前		1						教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)
		ドイツ語入門b	1後 2後		1						教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)
中国語入門a	1前 2前		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
	1後 2後		1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(22)	
科情目報	情報基礎Ⅰ	1前	2				1				
	情報基礎Ⅱ	1後		2			1				





専 門 科 目	実 践 演 習 ・ 総 合 演 習 ・ 実 習 科 目	保育実践演習 総合演習	3後		2	3						科目内容の変更はないが、科目名称を変更した(平成22年厚生労働省告示第278号による)。(23)	
		教職実践演習	4後		2	3							
		保育実習指導 I 保育実習指導	2通 2～3通		2 4	2							科目内容と科目名称及び開講学期を変更した。(平成22年厚生労働省告示第278号による)。(23) 担当 谷出千代子(教授) 石川昭義(教授) 平成23年1月 教員審査済 判定「可」(23)
		保育実習 I a	2前		2	2							
		保育実習 I b	2前		2	2							
		保育実習指導 II	3通		1	2							科目を新設した(平成22年厚生労働省告示第278号による)。(23)
		保育実習 II	3後 3前		2	2							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		保育実習指導 III	3通		1	2							科目を新設した(平成22年厚生労働省告示第278号による)。(23)
		保育実習 III	3後 3前		2	2							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		事前・事後指導(幼稚園)	1・3通		1	1	1						
		教育実習 I(幼稚園)	1後 4前		1		1						教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		教育実習 II(幼稚園)	3前		3		1						
		事前・事後指導(小学校)	3後～ 4通 4通		1	1							教育効果をより高めるため、開講学期を変更した。(23)
		教育実習(小学校)	4前		4	1							
		フィールドワーク演習	2通		2	2	1						
	児童館実習	4前		2	1								
	卒 業 研 究	特 別 演 習	子ども教育特別演習 I	3通	2		9	2	1				
			子ども教育特別演習 II	4前	2		9	2	1				
			子ども教育特別演習 III	4後	2		9	2	1				
			卒業研究	4通	4		9	2	1				
関 連 科 目		子育て支援論	4前		2	1							
		子育て支援演習	4後		2	1							
		特別支援教育論	3前		2								
		地域福祉論	4前		2								
		地域福祉演習	4後		2								
		子どもと食育	4後		2								
		子どもの映像文化	2後		2		1						
		子どもの発達臨床	3後		2								
		子どもと英語教育	3後		2								
		絵本・児童文学論	3前		2	1							
		児童館論	4前		2								
		自然体験	3前		2								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 20	科目 106	科目	科目 126	科目 20 [ ]	科目 109 [ ]	科目 [ ]	科目 129 [ ]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

未開講科目はない。(21)  
未開講科目はない。(22)  
未開講科目はない。(23)  
未開講科目はない。(24)

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

廃止科目はない。(21)  
廃止科目はない。(22)  
保育原理Ⅲ（平成22年厚生労働省告示第278号に伴う保育士養成課程の改正による）。(23)  
廃止科目はない。(24)

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講又は廃止の授業科目はない。(21)  
未開講又は廃止の授業科目はない。(22)

「大学の所見」

旧「保育原理Ⅰ」と旧「保育原理Ⅱ」を統合し新「保育原理Ⅰ」とし、旧「保育原理Ⅲ」を「保育原理Ⅱ」に科目名称を変更した。更に「保育者論」の新設により従来の教育内容は十分に担保されているため教育上の支障はない。(23)

「学生への周知方法」

学期始めに実施するガイダンスで周知した。(23)

未開講又は廃止の授業科目はない。(24)

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00\%}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。